

大学番号：069

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

香川大学大学院 医学系研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐 ヨコガワ トシコ 横川 利子

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail mdsokh@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名

香川大学大学院

(3) 大学の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 「該当なし」

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	4 年	30 人	120 人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	30人	—人	(—)	[—]	—人	—人	(—)	[—]	—人	—人	(—)	[—]	1.2倍
志願者数	36 (21) [5]	— (—) [—]											
受験者数	36 (21) [5]	— (—) [—]											
合格者数	36 (21) [5]	— (—) [—]											
B 入学者数	36 (21) [5]	— (—) [—]											
入学定員超過率 B/A	1.2		—		—		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[5] (-) 36	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) -				
4年次	/				[-] (-) -				
計			[5] (-) 36	[-] (-) -					

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	36人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
			平成29年度	-人	-人		
			平成30年度	-人	-人		
			平成31年度	-人	-人		
平成29年度 入学者	-人	-人	平成29年度	-人	-人		-%
			平成30年度	-人	-人		
			平成31年度	-人	-人		
平成30年度 入学者	-人	-人	平成30年度	-人	-人		-%
			平成31年度	-人	-人		
平成31年度 入学者	-人	-人	平成31年度	-人	-人		-%
合計	36人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<大学院医学系研究科 医学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	医科学概論	1前	2			11	3				
	医科学特論	1前	2			17	9				
	希少糖科学特論	1後	1			2	1				
	研究・生命倫理	1前	1			2					
ライフサイエンス科目群	希少糖の機能	1・2通		4		1	1				
	発達神経科学	1・2通		4		2					
	分子形態学特論	1・2通		2		1	1				
	組織細胞科学特論	1・2通		4		1	1				
	神経細胞生物学特論	1・2通		4		1	1				
	神経生理学	1・2通		4		1	1				
	呼吸循環生理学	1・2通		4		1	1				
	循環生理シグナル伝達学	1・2通		4		1	1				
	薬理学特論	1・2通		4		1	1				
	脂質生物学	1・2通		4		1	1				
	酵素学実験法	1・2通		4		1	1				
	医用有機化学特論	1通		4		1					
	医用分析化学特論	2通		4		1					
	分子内分泌学	1・2通		4		1	1				
	核医学画像解析	1・2通		2			1				
	毒性病理学	1・2通		2		1	1				
	分子神経病理学	1・2通		4		2		1			
	免疫組織化学	1・2通		4		1		1			
	免疫制御学	1・2通		4		1					
	寄生虫学特論	1・2通		2			1				
	衛生動物学特論	1・2通		2			1				
	微生物ゲノム科学	1・2通		2		1					
	生活習慣病予防論	1・2通		2			1				
	臨床疫学	1前		1		1		1			
	生物統計学	1前		1		1		1			
	医療管理学	1後		1		1		1			
	健康危機管理論	2前		1		1		1			
	国際保健論	2後		1		1		1			
	法医学特論	1・2通		2		1					
	医学教育学特論	1・2通		2		1	1				
	遺伝情報解析学	1・2通		4		1	1				
	疾患ゲノム情報学	1・2通		4		1	1				
生体分子立体構造学	1・2通		2		1	1					

		実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2		1				
		糖鎖構造解析	1・2通	2		1				
基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	トランスレーショナルリサーチ科 目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2		1	1			
		バイオイメージング技術の開発・応用	1通	2		1	1			
		中耳・内耳バイオイメージング	2通	2		1	1			
		形成外科におけるバイオイメージング	2通	2		1	1			
		細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4		1	1			
		生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4		1	1			
		iPS細胞の応用	1・2通	2		1	1			
		糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4		1	1			
		発がん機構	1・2通	2		1	1			
		免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4		1				
		微生物共生システムと応用	1・2通	2		1				
		健康測定・アセスメント	1・2通	2			1			
		医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1		1		1		
		医療政策論	1後	1		1		1		
		死因究明技術の開発	1・2通	2		1				
		タンパク質分子設計	1・2通	2		1	1			
		精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4		1	1			
		臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1		1				
		臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1		1				
		睡眠（終夜脳波システム）の臨床開発	1・2通	4		1	1	1		
認知症診断の技術研究	1・2通	4		1	1	1				
脂質異常症と心血管病	1・2通	4		1	1					
食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2		1	1					
周産期の脳発達と子供の健康	1通	4		2						
高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2		1	1					
近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2		1	1					
骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4		1	1					
前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		1						
低侵襲手術式の開発	2通	2		1						
癌とマイクロRNA	1通	2		1	1					
癌と遺伝子異常	2通	2		1	1					
分子イメージングの臨床応用	1・2通	4		1	1					
動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4		1	1					
病理診断学の臨床応用	1・2通	4			1					

	神経保護薬の臨床開発	1・2通	4	1	1				
	医工融合による医療機器開発	1・2通	1	1	1				
	救急・生体侵襲制御	1・2通	2	1					
臨床医・ メデイカル スタッフ 養成科 目群	希少糖医学	1前	1	1					
	地域医療学	1後	1		1				
	高齢者医療学	1前	1		1				
	医療倫理	1前	1	2					
	生活習慣病学	1後	1	1					
	災害医療・災害医学	1後	1	1					
	神経病学	1・2通	2	1	2				
	脳神経外科学	1・2通	2	1	1				
	運動器病学	1・2通	2	1	1				
	精神病学	1・2通	4	1	1				
	腎・泌尿器病学	1・2通	4	2	1				
	感染症学	1・2通	2	1					
	血液病学（血液・造血器・リンパ）	1・2通	2	2					
	免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2	1					
	呼吸器病学	1・2通	4	2		1			
	乳腺内分泌外科学	1・2通	2		1				
	消化器病学	1・2通	2	2	1				
	循環器病学	1・2通	2	2	2				
	母子周産期医学	1・2通	2	1	1				
	皮膚病学	1・2通	2	1					
	眼病学	1・2通	2	1	1				
	口腔病学	1・2通	2	1	1				
	頭頸部病学	1通	2	1	1				
	耳鼻咽喉疾患学	2通	2	1	1				
	放射線医学	1・2通	2	1	1				
	高度医療 人育成 コース	痛み学	1通	2	1				
		呼吸循環制御学	2通	2	1				
		小児科学	1・2通	2	1	1			
		内分泌代謝学	1通	2	1	1			
糖尿病学		2通	2	1	1				
救急救命医学		1・2通	2	1					
形態機能学		1・2通	2	1	1				
薬学	1・2通	2	1						

がん ブ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 養 成 科 目 群	研究 方 法 論 研 究 方 法 論 臨 床 研 究 論 医 療 統 計 学	がん疫学論				3								
		臨床研究論	1前	1		2								
		医療統計学					1							
	管理 と 腫 瘍 の 治 療	検査、診断法概論					1	2	1					
		治療法概論					5	1	1					
		治療合併症、支持療法、 緩和治療	1後	1			1	1	3					
		老年腫瘍学					1							
		がんの心理社会的側面						1	1					
	共通 コ ア リ キ ュ ラ ム	医療倫理学・医療経済学	1・2通		0.5		4							
		医療対話学	1・2通		0.5		2	1	1					
		がんチーム医療実習	1・2通		0.5									
		医療情報学(腫瘍学における 情報システム)	1・2通		0.5		2		1					
		がんのベーシックサイエンス、 臨床薬理学	2通		1		3		1					
	がん 専 門 共 通 科 目	臨床検査、病理、放射線診断学	2通		0.5		1	2	1					
		臓器別がん治療各論	2通		2		7	8	3					
放射線治療法		2通		1		1								
がん緩和治療		2通		0.5		3	4	3						
がん 専 門 選 修	臨床腫瘍学	2・3通		2		1								
	放射線腫瘍学	2・3通		2		1								
課題研究		3・4通	8											

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 119	科目 123	科目 123	—科目 —	—科目 —	—科目 —	—科目 —	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 「該当なし」

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校舎	専 用		共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	m ² (m ²)							
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前備い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	160	-	580	学士 (教育学)	1.02	平成15年度	高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	40	-	220	学士 (教養学)	1.00	平成15年度	同上	
法学部			3年次						
(昼夜開講制)								高松市幸町2番1号	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
法学科(昼)	4	150	10	620	学士 (法学)	1.06	平成15年度	同上	
(夜)		10	-	40		0.67	平成15年度	同上	
経済学部			3年次						
(昼夜開講制)									
経済学科									
(昼)	4	100	7	414	学士 (経済学)	1.02	平成15年度	高松市幸町2番1号	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
(夜)		6	-	24		0.33	平成15年度	同上	
経営システム学科									
(昼)	4	105	8	436		1.06	平成15年度	同上	
(夜)		8	-	32		0.56	平成15年度	同上	
地域社会システム学科									
(昼)	4	75	5	310		1.05	平成15年度	同上	
(夜)		6	-	24		0.87	平成15年度	同上	
医学部			2年次						
医学科	6	109	5	676	学士 (医学)	1.00	平成15年度	木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25年度入学定員増による学年進行
			3年次						
看護学科	4	60	10	260	学士 (看護学)	1.00	平成15年度	同上	
工学部			3年次						
安全システム建設工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.04	平成15年度	高松市林町2217番地20	
信頼性情報システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成24年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	80		320		1.02	平成15年度	同上	
			20	40					

知能機械システム 工学科	4	60		240		1.07	平成15年度	同上	
材料創造工学科	4	60		240		1.04	平成15年度	同上	
農学部									
応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.04	平成18年度	木田郡三木町大字池 戸2393番地	
教育学研究科									
修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	18	修士 (教育学)	1.16	平成15年度	高松市幸町1番1号	
特別支援教育専攻	2及び1	-	-	-		-	平成20年度	同上	平成28年度より学生募集停 止
教科教育専攻	2	18	-	45		0.61	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	16		0.85	平成15年度	同上	
専門職学位課程									
高度教職実践専攻	2	14	-	14	教職修士 (専門職)	1.07	平成28年度	同上	平成28年度より学生募集開 始
法学研究科									
修士課程									
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.37	平成15年度	高松市幸町2番1号	
経済学研究科									
修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.90	平成15年度	高松市幸町2番1号	
医学系研究科									
修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.49	平成15年度	木田郡三木町大字池 戸1750番地1	
博士課程									
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停 止
分子情報制御医学 専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停 止
社会環境病態医学 専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停 止
医学専攻	4	30	-	30		1.20	平成28年度	同上	平成28年度より学生募集開 始
工学研究科									
博士前期課程									
安全システム建設 工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.88	平成15年度	高松市林町2217番地 20	
信頼性情報システ ム工学専攻	2	24	-	48		1.33	平成15年度	同上	
知能機械システム 工学専攻	2	18	-	36		1.58	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		1.41	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設 工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.13	平成16年度	同上	

信頼性情報システム工学専攻	3	7	-	21		0.04	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.60	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.46	平成16年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
生物資源生産学専攻	2	25	-	50	修士 (農学)	0.34	平成18年度	木田郡三木町大字池戸2393番地	
生物資源利用学専攻	2	25	-	50		1.24	平成18年度	同上	
希少糖科学専攻	2	10	-	20		0.65	平成18年度	同上	
地域マネジメント研究科									
専門職学位課程									
地域マネジメント専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	1.13	平成16年度	高松市幸町2番1号	
香川大学・愛媛大学 連合法務研究科									
専門職学位課程									
法務専攻	3	-	-	-	法務博士 (専門職)	-	平成16年度	高松市幸町2番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医学研究科 医学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表 「該当なし」

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見個いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
44	35	3		82	44	30	3		77	44	30	2		77
(44)	(30)	(3)		(76)						[]	[△5]	[]	[]	[△5]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
55	27	0		55	22	0		55	22	0				
(55)	(22)	()						[]	[△5]	[]				

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用している教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 「該当なし」

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ ~~「事前倒い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。~~

6 留意事項等に対する履行状況等 「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<大学院医学研究科 医学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む） 「該当なし」

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項 「該当なし」

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有) ・ (無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成28年 6月下旬予定)